



ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和3年7月19日発行 文責 校長 副島 和久

通知表「ゆたたり」の見方

明日(7/20)、子どもたちは学級担任の先生から通知表が手渡されることと思います。1学期は、保護者面談で直接、お子様の様子をお伝えできることから、昨年同様、所見欄は設けず、「学習の状況」「身体の記録」「特別活動の記録」「出席の記録」についてお知らせしています。



学校 HP もご覧ください

その中で、各教科の学習状況、生活状況を ◎、○、△で評価した内容については、終業式の日に、学級担任から具体的に子どもたちに伝えるようにしています。特に、△の評価については、夏休みから2学期にどのように頑張ればよいのかということや、○や◎の中でも、特に頑張ることができていたことなどを伝えて、通知表を渡すようにしたいと思います。



ぜひ、ご家庭でも、この通知表を、子どもさんと保護者の方とのコミュニケーションのツールとして使っていただくことで、子どもさんが1学期の自分を振り返ることができ、夏休みや2学期に向けて、「さらにがんばろう!」という気持ちが生まれるようにしていただきたいと思っています。

そのために、通知表「ゆたたり」の見方について紹介します。

- 「学習のめあて」は、子どもたちに身に付けてほしいことやできるようになってほしいことなどを示しています。どの教科においても(1)は「知識や技能に関すること」、(2)は「思考力・判断力・表現力に関すること」、(3)は「主体的に学習に取り組む態度に関すること」を示しています。

「学習のめあて」の文言が低学年、中学年、高学年で同じものもありますが、学年が上がるほど、学習の内容も難しくなりますので、評価する基準もそれに応じたものとなります。

それぞれの観点の具体例を示します。但し、学年や教科は様々です。

(1) 「知識や技能に関すること」の具体例

学習した漢字を正しく書ける・読める・意味が分かる、指示語(これ、あれ、それなど)を正しく使える、小数のかけ算・わり算、分数のかけ算・わり算が正確にできる、公式の意味がわかる、表やグラフを読み取ることができる、音色に気を付けて鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏することができる など



(2) 「思考力・判断力・表現力に関すること」の具体例

詩に書かれている様子を豊かにイメージする、実験や観察をした結果からいえることを考えてまとめる、自分の解き方を順序だてて説明する、自分の考えとそう考えた理由を発表する、色や形に気を付けて描き方や作り方を工夫する、歌い方を工夫する など



(3) 「主体的に学習に取り組む態度に関すること」の具体例

あきらめないで粘り強く取り組む、分からなかったら友達に聞いたり先生に尋ねたりして解決しようとする、授業のめあてを達成しようとする、学習したことを他の学習場面や生活場面でも生かそうとする、楽しんで取り組む、友達と協力する、自分から進んで取り組む、見通しをもって取り組む など



これらを◎、○、△で評価をしています。
それぞれの記号については、以下のようにお考えいただくとよいと思います。



◎ よくできる

満足できる学習状況です。この調子で、夏休みや2学期も頑張るとよいと思います。より詳しいことを調べたり、難しいことにチャレンジしたりしてみるのもよいと思います。夏休みの自由研究や図画工作、感想文(作文)など自分が得意なことをもっともって極めてみるなど、学習したことや身に付けたことをさらに発揮できる場をご家庭でも勧めてあげてください。得意な分野で、思い切り、活躍してください。

○ できる



おおむね満足できる学習状況です。およそうまくいっていると思いますが、部分的には苦手なことがある子どもさんもいると思います。また、頑張るともっともってできるようになる人もたくさんいます。夏休みの宿題などに取り組む中で、苦手なことやよく分からないことはそのままにしないようにアドバイスしてあげてください。1学期の復習をやってみるのもよいと思います。心配なところやもっと頑張りたいところがあるときは、学級担任の先生やその教科を教えている先生に相談することをお勧めください。



△ もう少しがんばろう

まだまだ十分に伸びる可能性がある学習状況です。あきらめずに粘り強く取り組み、まずは、自分ができるところからこつこつとていねいに取り組むことでこれからの大きな伸びが期待できると思います。保護者の方による「やる気を引き出す」プラス思考の言葉かけや具体的な言葉かけが子どもさんの励みになると思います。また、これまで自分だけではうまく取り組めなかった子どもさんも多いと思いますので、学年に関わらず、言葉かけだけではなく、一緒に計画を立てたり、家庭での約束を決めたりして、取り組んだ宿題も大人が確認してあげられるとよいです。学習内容や方法で分からないことがあったら、学級担任の先生やその教科を教えている先生に相談することをお勧めください。



昨年度の終業式の日、朝の校門前で「通知表は嫌い。うちのお母さんはいつも、◎や△の数を数えて、去年と比べたり、妹と比べたりして、もっと頑張れ!としかいわない。」とつぶやいた子どもがいました。◎、○、△の数も一つの目安としてはよいと思いますが、それだけではなく、それぞれの教科について、一つ一つの◎○△の中身を子どもさんと話しながら、1学期の授業への取り組み方はどうだったかな? このあと、どのようにがんばるといいかな?といったようなことを子どもさんといっしょにお考えいただけると嬉しいです。



2「生活のめあて」についても、◎、○、△についての考え方は同様です。特に、△は「これからできるようになることが大いに期待できる」というメッセージですので、できていないことを指摘するだけではなく、① どのようにできていないのか、② どのようにすればできるようになるかということ子どもさんと一緒にお考えいただければと思います。そして、夏休みから少しずつ実行に移していけるとよいです。△について、「子どもの具体的な様子が気になる」「詳しく知りたい」という場合は、面談の際などに、学級担任にお尋ねいただければと思います。

check 通知表の変更点

今年度の「ゆたたり」では、校長印、学級担任印、保護者印の欄をなくすようにしました。印鑑レスの時代も反映しつつ、ささやかな働き方改革になればと思っています。保護者の皆様におかれましては、「家庭からの通信欄」をご記入いただきましたら、「保護者サイン」のところに簡単に署名をお願いします。(もちろん、押印されてもかまいません。)



数	次 席		出席日数
	出席	欠席	
0	0	0	90

家庭からの通信欄

保護者サイン: